



令和6年度 大洲市の決算

目 次

○一般会計の歳入	・ ・ ・ ・ ・	P 1
○一般会計の歳出	・ ・ ・ ・ ・	P 2
○大洲市の特別会計	・ ・ ・ ・ ・	P11
○大洲市の企業会計	・ ・ ・ ・ ・	P13

会計の種類

○一般会計

地方公共団体の行政運営の基本的な会計です。

福祉・教育・土木などに要する経費を市税などを主な財源として経理する会計です。

○特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

本市では国民健康保険、介護保険などがあります。

○企業会計

市の一般会計と切り離され、独立採算制による特定の事業を経理する会計です。

本市では水道事業や病院事業などがあります。

一般会計の歳入

歳入総額 327億5,050万円

種 類	金 額	割 合
地方交付税	112億7,020万円	34.4%
国庫支出金	38億3,292万円	11.7%
市 債	35億630万円	10.7%
市 税	43億7,464万円	13.4%
繰越金	24億3,359万円	7.4%
県支出金	17億9,339万円	5.5%
そ の 他	55億3,946万円	16.9%

【用語解説】

地方交付税	どの地域に住む人でも一定水準のサービスを受けることができるよう国から交付されるお金 国税6税(所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税、地方法人税)が原資となっています。
国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
市 債	市が借り入れたお金
市 税	みなさんから市に納められたお金

市税の内訳

項 目	金 額	割 合
固定資産税	21億121万円	48.0%
市 民 税	17億5,362万円	40.1%
たばこ税	3億2,300万円	7.4%
軽自動車税	1億9,558万円	4.4%
入 湯 税	123万円	0.1%

一般会計の歳出

歳出総額 306億7,069万円

目的別

目 的	金 額	割 合
総 務 費	63億8,703万円	20.8%
民 生 費	91億8,632万円	30.0%
衛 生 費	30億3,739万円	9.9%
農林水産業費	13億478万円	4.3%
土 木 費	24億4,999万円	8.0%
教 育 費	24億8,899万円	8.1%
公 債 費	35億633万円	11.4%
そ の 他	23億986万円	7.5%

性質別

性 質	金 額	割 合
人 件 費	56億2,592万円	18.3%
物 件 費	41億9,185万円	13.7%
扶 助 費	43億5,616万円	14.2%
補 助 費 等	43億6,699万円	14.2%
普通建設事業費	48億3,068万円	15.7%
公 債 費	35億 633万円	11.4%
そ の 他	37億9,276万円	12.5%

普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金
扶 助 費	児童手当や、重度心身障害者・子どもの医療費などに使ったお金
補助費等	各種団体への補助金や組合への負担金に使ったお金
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金

一般会計の歳出 目的別

議会費

予算額	2億406万円	
決算額	1億9,560万円	執行率 95.9%

議員の報酬や議会の運営経費など、議会活動のための経費です。

総務費

予算額	73億4,702万円	
決算額	63億8,703万円	執行率 86.9%

大洲市民文化会館の建設

例えばこんなことに…

老朽化した市民会館の移転、建替えに向け、市民文化会館新築工事の実施設計をとりまとめました。

また、建設予定地の用地を取得しました。

令和11年度の開館に向け、引き続き事業を推進していきます。

合併20周年記念事業

平成17年1月11日の合併から20年の節目を迎え、記念式典をはじめ、様々な記念イベントを行いました。記念式典には、きらめき大使全員が一堂に会し、これまでの歩みを振り返り、今後も、肱川流域の一体的なまちづくりを推進していくことを誓いました。

公募により公式キャラクター
「うつつじ」が誕生しました



公民館からコミュニティセンターへの移行

令和6年度から「大洲市地域自治組織再編方針」に基づき、公民館組織と自治会を統合・再編をし、新たな地域自治組織として、「新自治会制度」をスタートしました。

また、住民にとって、より身近で利用しやすい施設にするとともに、自治会の活動拠点として位置付けるため、公民館をコミュニティセンターに移行し、利用制限の緩和による活用の範囲拡大を図りました。

民生費

予算額 104億9,648万円
決算額 91億8,632万円 執行率 87.51%

例えばこんなことに…

出産世帯応援事業・出産世帯奨学金返還支援事業

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、出産後の時短家電・育児用品等の購入経費や妊娠中から出産後の1年の間に返還した奨学金について補助を行いました。

第2子以降保育料の無料化（軽減）

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降としていた保育料・給食費無料化を第2子以降に拡充しました。

保護者のニーズに応じた保育等サービスの充実

公立保育所（喜多保育所）において土曜一日保育を開始するとともに、学童保育（放課後児童クラブ）の朝、夕方の延長保育、土曜日保育を拡充しました。



こども家庭センターの設置

児童福祉、母子保健、発達支援の相談窓口を一元化した「こども家庭センター」を新設し、子育て不安など様々な相談に応じながら、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない伴走型の支援を行いました。

高齢者福祉の充実

高齢者が要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域で継続して生活を送ることができるよう、介護、介護予防・生活支援などの各種施策を推進し、健康寿命の延伸、高齢者の健康づくりに取り組みました。

障がい者福祉の充実

障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指して、重層的支援の体制づくり、福祉サービスの充実と利用しやすい仕組みづくりに取り組みました。

衛生費

予算額 33億215万円

決算額 30億3,739万円

執行率 91.98%

例えばこんなことに...

高齢者等の定期予防接種

疾病による重症化を予防するため、高齢者等のワクチン接種に対して接種費用の一部を負担しました。

高齢者インフルエンザ予防接種	9,675人
高齢者肺炎球菌感染症予防接種	130人
高齢者新型コロナワクチン予防接種	3,873人

拡大新生児スクリーニング検査費用助成

新生児の障がいや病気等の早期発見と早期支援を行うため、7つの疾患の検査費用を助成しました。

・拡大新生児スクリーニング検査費用助成 112件 1,080千円

出産を望む家庭への支援

妊娠・出産を望む夫婦に対して、不妊治療に係る経済的負担を軽減するため、治療費のほか、検査費用や交通費の一部を助成しました。

・妊娠前検査費用助成	12件	331千円
・不妊治療費助成		
〔一般不妊治療〕	13件	511千円
〔生殖補助医療〕	38件	1,469千円
・先進医療不妊治療費助成	33件	1,541千円
・不妊治療交通費助成	16件	382千円



特定健康診査・がん検診等

健康づくり・健康寿命の延伸に繋げるため、特定健診の個人負担の無償化及びがん検診等の個人負担軽減（ワンコイン500円）により受診率の向上を図りました。

特定健診受診者数 1,966人 （受診率 32.5%）

主ながん検診受診者数

胃がん検診	993人
肺がん検診	1,574人
大腸がん検診	2,119人
乳がん検診	1,813人
子宮頸がん検診	1,540人

衛生費

(つづき)

ごみの処理



例えばこんなことに・・・

家庭から排出されるごみを分別収集し、適正に処理しました。

＜主なごみの収集量＞

・燃やすごみ	5,861.82トン
・燃やさないごみ	290.93トン
・資源ごみ	679.19トン

猫不妊去勢手術費の補助

猫の不妊手術去勢手術費用の一部を補助しました。

＜補助金の額＞

・飼い猫	40頭	130千円
・飼い主のいない猫	241頭	1,534千円



ごみ出し困難者支援事業

家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者を対象に支援を行っています。

- 要件1
 - ・介護保険の認定を受けている人
 - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人
- 要件2
 - ・要件1のいずれかに該当し、1人暮らしで、自分で家庭ごみの排出が困難な人
 - ・世帯全員が要件1のいずれかに該当し、家庭ごみの排出が困難な世帯

・委託料 3,449千円 98件



労働費

予算額	7,000万円	
決算額	7,000万円	執行率 100%

勤労者への支援を目的とした資金貸付制度のための預託金を四国労働金庫に預託しています。

新規就農総合支援事業

農業従事者の高齢化や人口減少が急速に進展する中、独立・自営就農する方に「経営開始資金」を交付し、次世代を担う農業者となる青年新規就農者の確保を図りました。

森林経営管理事業

令和元年度に設置した「大洲市森林経営管理事業等検討委員会」で策定された「大洲市森林経営管理事業等実施計画」に基づき、森林環境譲与税等を活用して森林整備、担い手対策、木材活用の各種林業振興事業を実施しました。

スマート農業推進モデル事業

担い手の労働力不足を解消するため、ロボット、AI等を活用した「スマート農業技術」の導入に係る経費への支援を行い、農作業の効率化、担い手の負担軽減、合理化による生産性の向上に寄与しました。

農林道の新設・維持修繕事業

農道や林道は、農産物や林産物の運搬、森林施設の効率化、地域の生活道路としての役割を担っています。適切な維持管理を行うことで、車両や歩行者の安全性の確保や農林業従事者の悪条件の解消により農作業労力を軽減し、農業経営の安定を図りました。

長浜港小型船だまり整備事業

安全で効率的な漁業活動を支援するために、愛媛県が管理する長浜港の小型船だまりに、令和元年度から水産関連施設の整備を進めており、令和6年度は蓄養施設を建築しました。



商工費

予算額 11億687万円

決算額 8億8,950万円

執行率 80.36%

例えばこんなことに…

官民共創推進拠点施設運営事業

官民共創による地域課題の解決、市内外事業者交流、起業家の育成等を目的とした施設「大洲イノベーションセンター（OIC）」の運営を開始しました。

1階はどなたでも仕事や打合せ等に活用できる有料のコワーキングスペース、2階はサテライトオフィスとなっています。

＜OICで行った主な事業＞

大洲市合併20周年記念事業として、高校生起業家育成事業「大洲市高校生チャレンジプログラム」を行いました。受講生は大洲市が持つ地域資源や地域課題に触れ、新しい製品やサービスの開発をテーマに、起業の基礎を学びました。

・委託料 4,918千円



大洲ブランドの創出 ～大洲ええモンセレクションブランド戦略支援事業～

認定品の価値の向上や販路開拓を目指し、個別指導や販売・商談会の機会提供、情報発信等を行い、流通拡大に繋げることで大洲ブランドの信頼性と認知度を高めるとともに、地域活性化と市のイメージアップを図りました。

さらに、認定商品の中でも認定事業者が自ら取り組む事業を支援し、大洲ブランドの向上と事業者の継続的な経営を支援しました。

・委託料 7,998千円



観光まちづくり戦略推進事業

サステナブルな取り組みを観光客へ伝えるガイド育成事業を実施しました。

また、国内外の旅行会社が参加する各種商談会への関係機関・団体等の出展を支援し、更なる誘客促進を図りました。

観光促進事業

多様化する観光客のニーズに対応していくために、観光資源を掘り起こし、磨き上げ、組み合わせるなど、新たな観光旅行商品を作り上げていくための事業を実施しました。

また、訪日外国人受入環境整備事業としてトイレの洋式化改修工事を実施しました。

土木費

予算額 33億688万円

決算額 24億4,999万円

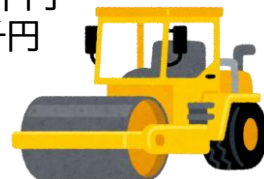
執行率 74.08%

道路の新設・改良

例えばこんなことに…

大洲市の市道は総延長1,706km（令和6年4月現在）で、国の補助事業や起債事業、または市単独事業により、道路の改良や舗装を行い、地域住民の暮らしの利便性の向上を図りました。

- ・交付金道路整備事業 350,787千円
- ・辺地対策事業 139,432千円
- ・過疎対策事業 102,052千円
- ・市単独事業 16,372千円



住家の耐震・空き家除却

地震への対策として木造住宅の耐震化とともに、老朽化した危険な空き家を除却する経費の一部に対する助成を行いました。

- ・木造住宅耐震改修：5件 助成額 5,000千円
- ・危険空き家除却：31件 助成額 23,785千円

治水対策・内水対策事業

国や県の河川整備に関連して、治水安全度向上のため、内水等による浸水被害の軽減を図っています。

- ・新谷地区 事業概要：止水壁設置 1,300千円 樋門改修:1,777千円
- ・梁瀬地区 事業概要：止水壁設置 2,847千円
- ・流域治水推進補助金（雨水貯留施設設置費の2/3）：2件 補助額133千円

消防費

予算額 11億6,861万円

決算額 10億1,060万円

執行率 86.47%

例えばこんなことに…

地域防災リーダーの育成



地域の防災リーダーとなる人材を育成するため、防災・減災に関する知識等を有する防災士の資格取得を支援するとともに、防災士の資質向上を図るための研修会を実施しました。・防災士養成講座 34人参加・防災士スキルアップ研修 50人参加

消防施設整備

老朽化した消防詰所の建替え、消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプの更新を行い、消防力の強化を図りました。

- ・詰所建替え 2箇所 39,353千円
- ・消防ポンプ車 1台 26,840千円
- ・小型動力ポンプ積載車 2台 8,356千円
- ・小型動力ポンプ 4台 9,174千円

教育費

予算額 26億9,986万円

決算額 24億8,899万円

執行率 92.18%

例えばこんなことに…

学校施設の整備・充実

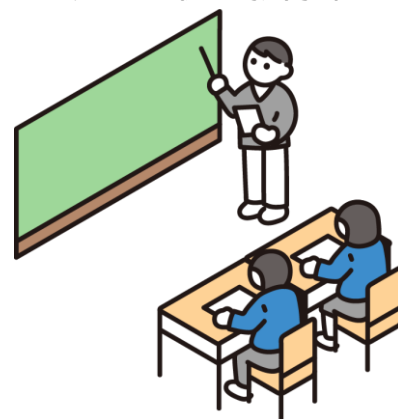
「大洲市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設について、老朽化、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行い、児童生徒の教育環境の改善を図っています。

・大洲南中学校長寿化改修事業

校舎棟 1,794㎡ 管理棟 736㎡

特別教室棟 564㎡

<事業内容> ・R6実施 長寿命化改修工事
・事業費 300,080千円（前金）
・工期 R6.9.19～R7.11.30



外国語教育の充実

外国語指導助手の導入により、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、学習指導要領に対応した外国語教育の充実を図っています。

・外国語指導助手（ALT） 10人

郷土を愛する心の育成（郷土の先哲顕彰事業）

大洲市立博物館において、大洲市出身者又は大洲市にゆかりの深い人の功績などを紹介するとともに、市内の小中学校へ巡回パネル展・出前学習会を行っています。

・R6 特別展「蘭学者 武田斐三郎」

中学校部活動の地域展開の推進

中学校部活動の段階的な地域展開と、地域スポーツ環境の一体的な整備に向けた取組を推進するため、国の委託事業を活用し、地域クラブの運営等に関する実証事業を行っています。

その他

予算額 37億8,161万円

決算額 36億5,049万円

執行率 96.53%

公債費、災害復旧費、予備費など

大洲市の特別会計

特別会計とは、ある特定の事業を行う場合に一般会計とは区別して、歳入や歳出などの経理処理をするものをいいます。

また、特別会計を新たに設けたり、廃止するときには、条例で規定しなければなりません。

1 国民健康保険

予 算	50億7,672万円
収 入	50億3,038万円
支 出	48億1,676万円
差引額	2億1,362万円

国民健康保険制度は、病気やケガをした時に病院に支払う診療費の一部を負担することによって自己負担を軽くするための社会保険です。自営業者や会社を退職した人などが加入しています。

加入者が納付した保険税などの収入や医療費の支払いなどを管理するための会計です。

2 国民健康保険診療所

予 算	1億1,094万円
収 入	9,887万円
支 出	9,887万円
差引額	0円

河辺診療所を運営するため、個人が納付した医療費や診療報酬などの収入や、医師や看護師の人件費、医薬品や医療機器の支払いなどを管理するための会計です。

3 後期高齢者医療

予 算	8億2,340万円
収 入	7億8,886万円
支 出	7億5,292万円
差引額	3,594万円

後期高齢者医療制度は、平成20年4月1日から開始しました。75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいのある人を対象にした医療制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や、制度の運営をしている後期高齢者医療広域連合（都道府県単位に設置）への負担金などの支払を管理するための会計です。

4 介護保険（介護保険事業勘定・介護サービス事業勘定）

予 算	59億7,831万円
収 入	58億1,069万円
支 出	58億1,069万円
差引額	0万円

介護保険制度は、介護を必要としている人が日常生活を送るために訪問サービスや施設サービスを受けることができるよう、社会全体で支える仕組みとして導入されている制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や保険給付費などの支払いを管理するための会計です。

5 飲料水供給事業

予 算	3,352万円
収 入	3,055万円
支 出	3,055万円
差引額	0円

飲料水供給事業は、給水人口が50人から100人までの飲料水供給施設と、10人から49人までの共同給水施設で水を供給しています。

使用者からの使用料収入や、水道施設の維持管理や施設整備にかかる支払を管理するための会計です。

6 港湾施設事業

予 算	1,090万円
収 入	1,027万円
支 出	1,027万円
差引額	0円

港湾センター(大洲市長浜)の施設使用料などの収入や、施設の維持管理にかかる支払いなどを管理するための会計です。

7 土地取得造成

予 算	36万円
収 入	16万円
支 出	16万円
差引額	0円

公共事業として必要な土地を購入するための費用や、その用地費用を準備するために借り入れる地方債の元利償還金などを管理するための会計です。

収入は一般会計からの繰入金が主なものです。



大洲市の企業会計

企業会計とは、公共の利益を目的として経営する企業にかかる会計のことです。
大洲市では、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業があります。

水道事業会計

総収益	11億3,380万円
総費用	10億2,882万円
当期純利益	1億498万円

飲料水供給事業以外の水道事業を運営するための会計です。

給水人口 35,298人
年間配水量 6,209,404m³
年間有収水量 4,382,878m³

工業用水道事業会計

総収益	3,850万円
総費用	2,203万円
当期純利益	1,647万円

工場や事業所などの限定した雑用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

給水先事業所数 3箇所

下水道事業会計

総収益	7億3,186万円
総費用	7億3,186万円
当期純利益	0円

公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営するための会計です。

処理区域内人口 9,028人
処理水量 766,687m³
(一日平均2,056m³)

病院事業会計

総収益	32億1,867万円
総費用	33億3,665万円
当期純利益	△1億1,798万円

市立大洲病院を運営するための会計です。

病床数（一般・結核） 150床
延べ入院患者数 28,814人
延べ外来患者数 70,586人



臥龍院